

普及項目	担い手
漁業種類等	キビナゴ刺し網漁業
対象魚類	キビナゴ
対象海域	天草海

熊本県漁業就業支援協議会を核とした新規就業者支援の取組

熊本県水産研究センター企画情報室・若田 隆太

【背景・目的・目標（指標）】

本県では、新規漁業就業者の確保を推進するため、平成 25 年度（2013 年度）から、当センターに漁業学校に準じた研修体制を整備し、国の青年就業者準備給付金事業（現：次世代人材投資（準備型）事業）を活用した研修を開始した。平成 28 年度（2016 年度）からは、県漁連を中心とした県漁業就業支援協議会が、国の長期研修支援制度を活用し、未経験者でも円滑に漁業に就業できるよう、長期研修を実施している。

一方、近年はコロナ禍による対面活動の制限や受け入れ先の減少等が課題となっている。

今回は、全国漁業就業支援フェアへの出展を通じた新規漁業就業希望者との相談対応、体験漁業、指導者とのマッチング、研修開始への一連の流れの支援を行った。

【普及の内容・特徴】

県漁連、関係市町村、県の担当で構成される県漁業就業支援協議会作業部会が、全国漁業就業支援フェア（福岡会場）に出展し、会場において新規漁業就業希望者の相談対応等を実施した。フェア終了後、本県での就業に興味を示した方々を対象に体験漁業を実施し、指導漁業者とのマッチングや長期研修の開始に向けて関係者と協議を行った。

【成果・活用】

（1）全国漁業就業支援フェアへの出展

令和 5 年（2023 年）7 月 8 日に開催された、全国漁業就業支援フェア（福岡会場）において、過去に長期研修（独立型）として受け入れ実績のある、天草市牛深地区のキビナゴ刺し網漁業について説明を行った。当日は来場者 43 名中 6 名が本県ブースを訪問され、作業部会が相談対応を行った。

（2）体験漁業の実施

フェアで相談対応した 6 名のうち、希望のあった 4 名について、キビナゴ刺し網漁業の体験漁業を実施した。体験漁業は、出航から漁場の探索、漁具の投網から揚網、漁獲後の選別、出荷まで一連の流れを体験し、体験漁業終了後は先輩漁業者との意見交換も行った。

（3）指導漁業者とのマッチング及び研修実施に向けての協議

体験漁業を実施した 4 名のうち 2 名については、牛深地区での就業に興味を示したため、漁協に依頼し、指導漁業者の選定、就業希望者との顔合わせ、意見交換を行った。協議の結果、令和 6 年（2024 年）1 月より 3 年間の長期研修（独立型）を開始することとなった。現在は 1 名が独立に向け研修を継続中である。

【達成度自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100%）



図 1 全国漁業就業支援フェアのブース



図 2 全国漁業就業支援フェアの様子



図 3 キビナゴ刺し網漁業体験の様子



図 4 キビナゴ刺し網漁業体験の様子



図 5 研修開始に向けた打合せ